資料３－２

第45回全国豊かな海づくり大会の大会名称（副題）について

〇大会名称：第45回全国豊かな海づくり大会～〇〇おおさか大会～

〇副題の考え方及び候補

＜考え方＞

①豊かな海を想起できる名称であること。

②国民的行事であることを鑑み、歴史や風土等に由来する名称であること。

③大阪全体をアピールできる名称であること。

　＜大阪府内沿岸市町・大阪府漁業協同組合連合会の集計結果＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No. | 副題 | 名称の理由 | 集計の状況 |
|  | 意見 |
| １ | 茅渟（ちぬ）の海おおさか大会 | 「茅渟」は和泉と淡路の間にある海の古称で現在の大阪湾一帯を示し、歴史的にもゆかりがある。大阪湾で多獲されるクロダイの地方名「ちぬ」の語源であるとの説や、大阪湾を望む地域の校歌に広く歌われるなど、府民に親しまれる豊かな「茅渟の海」のイメージを全国に発信できる。 | ２ | ・「魚庭の海」は魚庭の海づくり大会と混同するおそれがあるため、歴史のある「茅渟の海（ちぬのうみ）」がよい |
| ２ | 魚庭（なにわ）の海おおさか大会 | 大阪を示す「なにわ」の語源は魚の豊かな海を表す「魚庭」であるという説があることから、豊かな海のイメージを全国に発信できる。また、全国的にも「なにわ」の呼称は大阪をイメージしやすい。 | 6 | ・大阪をイメージしやすく、魚庭とかけられており語呂もよい・全国的にも「なにわ」の呼称は大阪をイメージしやすい・魚の豊かな海を表す「魚庭」を用いることで、漁業振興という大会目的にも合致する・「魚庭の海づくり大会」等も例年開催されており、親しみがあるのと、大阪をイメージしやすい |
| 3 | 食の都おおさか大会 | 大阪は昔から食にまつわる文化が育まれたことから「食の都」として親しまれ、「食の都・大阪」としてブランド化が進められており、水産物を含めた大阪の食文化を主要な観光資源としてPRしていくことを全国に発信できる。 | ２ | ・食文化として水産物も多く使用されており、PRにつながる。また、シンプルでわかりやすい・府外の方にも老若男女を問わずに広く伝わりやすい |
| ４ | 天下の台所おおさか大会 | 大阪は江戸時代から交通の要衝であり、特産物などの集散によって経済的に中心地となったことから「天下の台所」とも呼ばれた歴史を有し、商業都市大阪であることを全国に発信できる。 | １ | ・候補のなかで、多くの方が受けている日本史の授業において、大阪は江戸時代における最大の商業都市「天下の台所」として紹介されており、世間的認知度が最も高い |
| 5 | 副題なし | ― |  |  |
| ６ | いずれでもよい | ― | ２ |  |

＜参考＞過去の例

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年度 | 開催県 | 副題を含む大会名称 |
| 令和元年 | 秋田県 | 第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会 |
| 令和３年 | 宮城県 | 第40回全国豊かな海づくり大会～食材王国みやぎ大会～ |
| 令和４年 | 兵庫県 | 第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会～御食国ひょうご～ |
| 令和５年 | 北海道 | 第42回全国豊かな海づくり大会北海道大会 |
| 令和６年 | 大分県 | 第43回全国豊かな海づくり大会～おんせん県おおいた大会～ |
| 令和７年 | 三重県 | 第44回全国豊かな海づくり大会～美し国みえ大会～ |